

達成度：H31.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

住民協働課の目標（平成30年度）自己評価書

住民協働課長 古川 義弘

| 個別事業とその目標 | 達成度 | 目標達成の効果又は達成できなかった理由等 |
|--|-----|---|
| <p>1 住民活動団体の支援</p> <p>地域の活性化や課題等に取り組むための、住民団体等の自由で自発的な公益活動に対する住民提案型の住民公益活動補助金の交付や、井戸端（酒々井町交流サロン）・ミーティングルームなど活動拠点の支援により住民活動団体の活性化を図るとともに、住民活動団体交流会を通じてその活動状況を広め、団体同士の連携強化を図ります。</p> | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・住民公益活動補助金を1団体へ交付することにより住民が行う自発的な公益活動である住民活動を支援することができました。 ・交流サロン「井戸端」、ミーティングルームを効果的に活用していただくことで団体の活動が活発になる一方で、公益性の乏しい団体活動も見受けられました。 ・近年、住民活動団体交流会の成果が挙がらないため、今年度は見送りました。 |
| <p>2 住みよい地域づくりの推進</p> <p>もっとも身近な住民組織の自治会等と行政は、地域住民の住みよい環境をつくるという目的を共有しており、自治会等の運営について支援します。</p> <p>また、地域担当員が自治会等との連携が図れるよう支援します。</p> | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・各自治会（36団体）に自治振興助成金を交付しました。 ・行政連絡員を各地域（39地区）で委嘱し、自治会と行政のパイプ役として活動としていただくとともに、自治会役員引継ぎを円滑に行うことを目的とした「行政連絡員の手引き」を作成し配布しました。 ・各地域に地域担当員を配置し、住民と行政の緊密な関係を築くことに努めました。 |
| <p>3 協働意識の普及と啓発</p> <p>公共や公益を担い支えるのは行政だけではなく、住民等との協働のうえに成り立つという意識を持ち、協働のまちづくりへの理解を深めるための講演会や研修会を実施</p> | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・協働のまちづくりを推進するため、講師（ONE勝浦企業組合 代表理事 三上直哉氏）による「協働のまちづく |

| | | |
|---|---|---|
| <p>します。</p> <p>また、住民と行政の協働活動として、公園等愛護活動推進事業や資材等支給事業を推進します。</p> <p>4 高齢者・団塊世代の生きがい就業支援</p> <p>高齢者や団塊の世代の社会参加と生きがい就労を目的とした「酒々井町シルバー人材センター」の運営を支援します。</p> <p>5 男女共同参画社会形成の促進</p> <p>男女共同参画社会形成についての理解を深めるため、県から委嘱される地域推進員と協力して啓発事業や情報提供を行い、男女共同参画社会形成への意識を高めていきます。</p> <p>また、男女共同参画社会実現に向けて平成30年3月に策定した酒々井町男女共同参画計画に基づき、各施策の推進に努めます。</p> <p>6 地区集会所等への補助</p> <p>各地区の集会所等に対して管理費、修繕費、増改築費、建設費等について助成します。</p> <p>7 チャレンジ目標</p> <p>① 地域課題解決や新たな町の政策形成等に寄与する創造的なまちづくりの研究事業を行う拠点の「酒々井まちづくり研究所」の管理運営を行います。また、まちづくりの研究や実践の場として「輝く創年コミュニティ・フォーラム」を開催します。</p> | <p></p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>2</p> | <p>り研修会」を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民と行政の協働活動として、地域の公園等の環境美化を目的とした公園等愛護活動を実施、公園数20箇所、14団体の協力を得られました。 ・町が資材及び機材等を支給し、住民自らが施工する資材支給事業により、農道整備等6箇所の環境改善を図ることができました。 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金として140万円を交付しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県男女共同参画地域推進事業(北総地域)の参加運営協力をしました。 ・「人権教育セミナー」と共催で落語家 林家木久蔵氏による「男女共同参画講演会」を開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・集会所等を管理する自治会(29団体)に地区集会所等管理費補助金を、集会所等の修繕が必要な7施設については修繕費補助金を交付しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・「まちづくり研究所」が主に使用するミーティングルームの常設機器(パソコン・電話及びFAX・インターネット回線)は使用頻度が少ないことから撤去し、運営規 |
|---|---|---|

| | | |
|--|--|---|
| <p>② 男女共同参画の意識の醸成を図るため、普及啓発に努めより一層推進します。</p> | | <p>模の縮小を図り支出の削減に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会形式により「第6回輝く創年とコミュニティ・フォーラム」を開催しました。実行委員の意見を吸い上げて住民主導での実施をしたことで経費の節減等効率的な実施が出来た一方で、実行委員会の体制強化の必要性が課題として出てきました。 ・「酒々井町男女共同参画計画」に基づき、啓発に努めました。 |
|--|--|---|